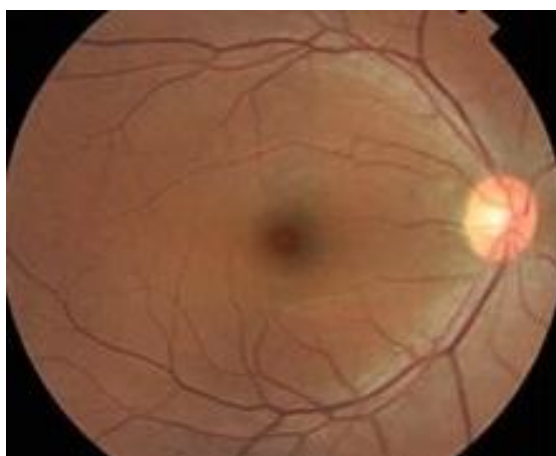


た、網膜に血液中の水分がたまったりして、むくみ(黄斑浮腫)を起こします。網膜出血や黄斑浮腫のため視力が急に下がったり、物が見えにくくなる、見えない部分があるなどの症状がでます。特に黄斑部に出血や浮腫ができるとかすんで見えにくくなったり、黒っぽく見える部分ができたりします。



正常



網脈静脈閉塞症

網膜静脈閉塞症に対して、現在行われている主な治療は次の2つです。

#### ○抗 VEGF 薬治療

網膜静脈閉塞症に伴う黄斑部のむくみには VEGF という物質が関与しています。そのため、VEGF のはたらきを抑えるお薬を目に注射します。

#### ○レーザー光凝固

網膜に十分な血流が流れないタイプ(これを虚血型といいます)に対しては、網膜にレーザー光線を照射して虚血部位の網膜を凝固します。これによって緑内障や眼内出血で失明するのを予防することができます。

### <糖尿病網膜症>

糖尿病が透析導入原因の第一位であることから糖尿病網膜症という目の病気を合併されている方が多くみられます。

糖尿病網膜症は、単純網膜症→増殖前網膜症→増殖網膜症と進行します。

#### ・単純網膜症

網膜血管がやぶれ始め、血管にコブができたり(毛細血管瘤(りゅう))、出血したりします(点状出血)。また、やぶれた血管から、血流や血液中の成分がもれだします。

#### ・増殖前網膜症

血管の障害が繰り返されることで血管壁が厚くなり、血管が狭くなったり、つまったりして(血管閉塞)、血液が網膜に十分に流れなくなる(虚血)状態です。